

第1回みえスタディ・チェックの結果について

4年生と5年生を対象に実施された「令和6年度 第1回 みえスタディ・チェック」の結果をお知らせします。「みえスタディ・チェック」は、三重県が独自に行っている「学習指導要領を踏まえ、知識・技能を活用し、自ら考え判断し、表現する力の定着状況を確認するための調査」です。本校の結果とその分析は、以下の通りです。



教科に関する調査の結果より

教科の平均正答率(%)

		国語	算数	理科
5年	本校	55.6	61.1	62.6
	三重県	48.8	56.1	51.8
4年	本校	60.0	68.7	
	三重県	57.8	59.0	

5年生は国語・算数・理科の3教科、4年生は国語・算数の2教科で学力調査が行われました。本校の教科の平均正答率は、左の表の通りでした。

4年生では、国語・算数どちらの教科においても県の平均を上回りました。

5年生でも、国語・算数・理科のすべての教科で県の平均を上回りました。

4, 5年生ともに、前年度までの学習内容が身につけている児童の割合が、県の割合よりも高い結果となりました。

5年生の国語、算数、理科の分析結果

国語では、「書く」を除く領域「知識・技能、話す・聞く、読む、言語文化」で、県平均を大きく上回りました。「書く」領域に課題がみられ、出題条件に合わせて自分の意見を書く練習をしていく必要があります。

算数では、「図形」と「データの活用」の領域で県平均を大きく上回りました。「数と計算」と「測定」の領域に課題がみられ、基礎計算の定着を図ることと分度器を使って角度を読み取る練習をしていく必要があります。

理科では、領域別でみると概ね全領域で県平均を大きく上回りましたが、正答率にばらつきがみられるため、理科の基礎的な知識・技能や科学的な見方・考え方の定着を図っていく必要があります。

4年生の国語、算数の分析内容

国語では、領域別でみると概ね県平均と同じでした。「知識及び技能」「読む」の領域に課題がみられ、既習漢字の定着と長文読解の定着を図っていく必要があります。

算数では、領域別でみると「測定」の領域を除き、県平均を上回りました。身の回りのものの大きさを比べたり、正確に測定ができるようにしたりする必要があります。

学習や生活等に関する質問の結果より

「みえスタディ・チェック」でも、子どもたちの生活や学習の様子などをアンケート形式で問う調査が行われました。以下に４・５年生全体の結果を示し、特徴をまとめてみました。

※数値は、「当てはまる・している」「どちらかといえば、当てはまる・している」と回答した割合の合計(%)

質 問 項 目	本 校	三 重 県
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	77.7	79.2
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	94.4	88.3
自分には、よいところがあると思いますか	66.6	82.2
将来の夢や目標を持っていますか	100	88.2
難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか	100	82.4
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	88.9	79.6
今住んでいる地域の行事に参加していますか	94.5	71.5
学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか ＊１時間以上の回答	66.7	44.8
普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、ゲームをしますか ＊３時間以上の回答	11.2	33.0

○ 毎日、同じくらいの時刻に寝ている・起きている児童の割合は、県平均とほぼ同じか高い結果となっています。これからもさらに生活習慣を整えて、毎日一定の生活リズムを保ち、自分の学習や運動に取り組む時間などを見通すことができるようにしましょう。

○ 将来の夢や目標を持っている児童の割合が１００％、失敗を恐れずに挑戦する児童の割合も１００％と県平均を上回っています。夢や目標に向かって、前向きにがんばろうという気持ちがうかがえます。

○ 地域行事へ参加している児童の割合は県平均を上回っています。また、「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と思っている児童の割合も高いです。日頃からの保護者・地域の皆様のご支援のおかげと感謝いたします。たくさんの地域の方やふるさとの自然や文化に学びながら、今後、地域の一員として自分たちにできることは何かを考えることも大切なことだと思います。

○ 平日１日当たりの学校以外での勉強時間が１時間以上と回答した児童の割合が、県平均より高くなっています。また、平日１日当たりのゲームの時間が３時間以上と回答した児童の割合は、県平均よりかなり低くなっています。１日の限られた生活時間帯を有効に使っている様子がうかがえます。

▲ 「自分には、よいところがあると思いますか」についての肯定的回答が、県平均よりも低くなっています。失敗を恐れずに挑戦するという姿もあるので、普段から何事にも積極的に取り組んで、うまくできた体験をすこずつでも積み重ねていって、自信へとつなげてほしいです。

▲ ゲームの時間は、１日２時間以上という回答も含めてみると５０％を超えます。ゲームの時間が長いと勉強時間や睡眠時間が削られることになります。基本的な生活習慣を身につけて、健全に生活することがなによりも大切です。



昼生小学校では、今回の結果から見えてきた課題をもとに、今後の授業改善に努めていきます。保護者、地域の皆様におかれましても、子どもたちのよりよい生活習慣の定着に向けて、見守っていただくとともに、ご支援をお願いいたします。

